



令和8年5月1日現在

人口	14,232人
男性	6,928人
女性	7,304人
世帯数	7,039戸

新たに着任しました！

本郷地区の各所ではこの4月から新しいスタートを切られた方々がおられます。本紙では、この度本郷小学校の校長に就任された佐柳美穂先生にお話を伺い、学校に対する思いや意気込みをお聞きしました。

(横田 T)



本郷小学校長 佐柳美穂先生

本郷地区に初めて着任したという佐柳先生。自身を「コミュニケーションがとれる性格」と言い、子どもたちには気軽に声をかけてほしいと話していました。

小学生の頃の思い出は？

担任の先生が好きでご自宅に友だちと遊びに行きお話しをしました。音楽が専門でリコーダーが得意でした。音楽を通じて一生懸命子どもと向き合う姿が印象的で、私が教師を志す根底になっっているように思います。

先生を志したきっかけは？

大学時代に母校で行った教育実習がきっかけです。子どもたちと過ごす面白さとやりがいを感じ、教師を目指す事に確信をもちました。

本郷小学校の第一印象は？

挨拶が良くできる子どもたちです。それに始業式などでも人の話をよく聞いてくれており、まとまりがあると感じています。

今後取組みたいことは？

松本市の「みんなの未来の学校」です。学校が子どもたちにやることを与えるのではなく、子どもたちの興味や関心を基に学びを深められるようにしたい。そのためには子どもたちの声を吸い上げ、先生方だけでなく地域の方とも相談しながら未来の学校作りを取組みたいと思います。

その他に？

初めて着任した地なので、スクールバスに乗って子ども

たちがどんな所から通学しているのか体験してみました。また、温泉地にある学校ならではの体験も楽しみです。美味しい地元の名産も味わいたいです。

完成！松門文庫パンフレット

浅間温泉に残る大正時代の建築物「松門文庫」。その保全と利活用に取組んでいる「松門文庫をひらく会」(以下ひらく会)は、松門文庫の解説と会の活動を取り上げたパンフレットを発行しました。

ひらく会の米山文香さんは「松門文庫は、建築として優れているだけでなく、近代化に大きく関わる蚕種製造業や浅間温泉の発展など、地域の産業・文化・歴史を語るうえで重要な建物。パンフレットを通してその魅力を発信し、保全につなげていきたい」と話しました。(三才山 M)



発行されたパンフレット表紙絵は、地元の画家田口勝さんの手による。

公民館報改善のため、皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。二次元コードよりご回答いただけます。



横田さくらの会お花見

4月17日(金) 今年はお花見の開花が早く満開が過ぎましたが、横田さくらの会のお花見が横田第1町会公民館で開催されました。

今年、学生時代から長年ギターを続け、現在はボランティアで15年ほど地域活動をされている横田第6町会の柳澤政夫さんをお招きし、「ギターに合わせて楽しく歌おう！」という企画でした。最初は、柳澤さんのギター演奏から始まりました。名曲

が次々と奏でられると、聴いている皆さんは徐々に体を左右に揺らして拍子を取り、鼻歌や歌声が混じり始め、いつの間にか演奏は伴奏になるほど盛り上がりつつあります。実行委員さんが作成された、文字が大きく見やすい歌詞カードを持ち、季節の歌や童謡、歌謡曲など次々とギター演奏と歌声が響きました。サンプライズアンコールは、ヨーロッパの映画「ひまわり」のテーマ曲。切なく美しいギターの音色に涙を浮かべる方もおり、感動に包まれたフィナーレとなりました。(横田 I H)

ブル・お寿司などがあり、皆さん会話を楽しみながらの会食になりました。当日は天気も良く、公民館の北側にある枝垂れ桜が咲き始めています。公民館前の道路はテニスコート・野球場・第一高校・文化ホールの桜も見え綺麗な花を咲かせていました。(浅間 8 S)

お花見会食会開催

4月12日(日)に浅間温泉第8町会公民館で令和8年度定期総会が行われました。令和7年度の経過報告・令和8年度事業計画等が話し合われ、その後恒例のふれあいお花見会食会になりました。オード



会食の様子と会場の桜

懐かしのレコードを堪能

本郷公民館では、「絵はがきレコード・ソノシート鑑賞会」を4月24日(金)に開催しました。講師には公民館や老人ホームなどで鑑賞会を開催している務台秀夫さんをお招きし、ご自身所有のレコードを楽しましました。

講座では、観光地や映画宣伝用の絵はがきにレコード用の溝が彫られた絵はがきレコードや、付録などで使われたソノシート(ビニール製レコード)を視聴。東京オリジナルのダイジェストや石原



柳澤さんのギターで歌う参加者

男装の麗人

川島芳子(かわしまよしこ) 旧宅跡

浅間温泉6町会には、「男装の麗人」と呼ばれ、清朝の王女でありながら波乱の生涯を送った川島芳子の旧宅跡があります。



旧宅跡



川島芳子写真(歴史の里所蔵)

裕次郎、加山雄三、坂本九などの名曲が流れました。最初は静かだった客席でしたが、会が進むにつれ音楽と共に口ずさむ姿が見られました。来場者からは「昔を思い出した、懐かしさで胸がいっぱいになった」などの声がかかれました。参加者の郷愁を誘う機会となりました。(本郷公民館主事)



レコードを流す務台さん

1911年の辛亥革命後、旧松本藩士・川島浪速(なにわ)の養女となった彼女は、14歳で松本高等女学校(現・蟻ヶ崎高校)へ入学しました。語学に堪能で書道も嗜む才女でしたが、とりわけ有名なのが「馬での通学」です。浅間温泉から学校まで颯爽と馬を駆る姿は、当時の人々に強い印象を残しました。私の祖母や母も近所に住んでおり、その凛々しい姿を後年まで語り草にしていたものです。

実父の死による中退後、彼女は時代の荒波に翻弄され、スパイ活動の末に1948年、刑露の露と消えました。しかし、今なお生存説が囁かれるなど、その謎めいた魅力は失われていません。遺骨は市内正隣寺の川島家墓所に眠り、松本市歴史の里には記念室も設置されています。今も多くの人々が彼女の数奇な運命に思いを馳せています。(浅間温泉 6 T)